



およその大きさ 100×90×20cm

形の特ちょう (ニックネーム)

色の特ちょう

- ・ 緑色だが、白線の入った縞模様

表面の特ちょう

- ・ 白色の横じまの部分は凸部になっている。平面には全面的に白い点状の結晶がある

側面の特ちょう

- ・ 平板を重ねた形をしている(片理)
- ・ 小さな褶曲や断層が見える

含まれているもの

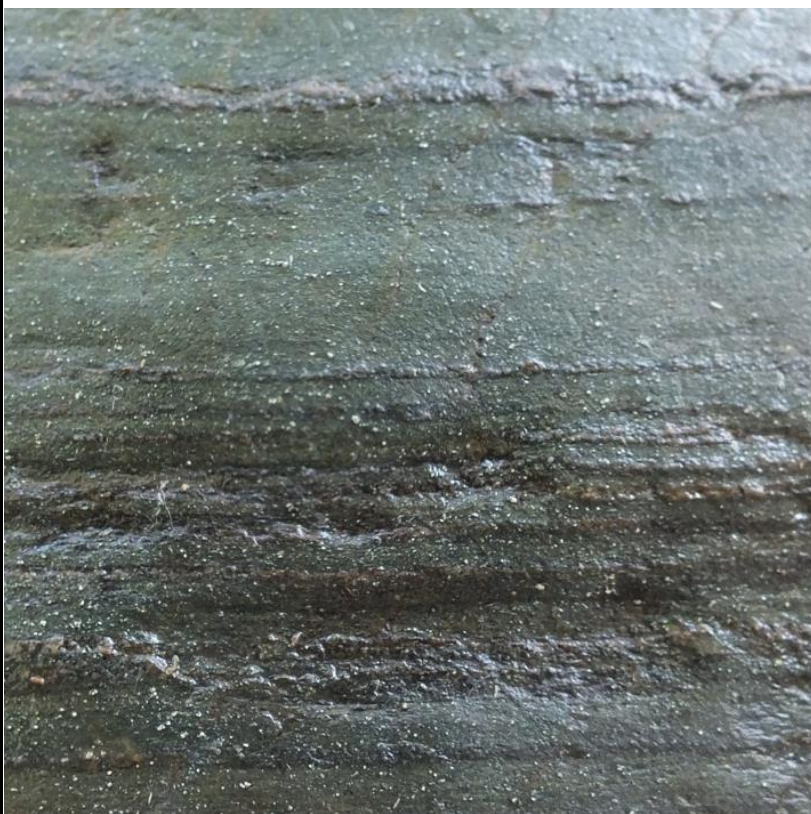
- ・ 点紋 (顕微鏡で見ると斜長石)



点紋片岩と呼んでもよい

その他の特ちょう

- ・ 白色の層の部分は塩酸をかけても発泡しない。カッターナイフでも傷つかない (→石英)
- ・ 磁石にはわずかに付く
- ・ 断層面には白色鉱物が生じている



メモ

【観察メモ】

- * 岩体の横断面の1つに白色の鉱物が生じている。ここは断層面で、そこを液体が満たし液体から結晶が生じたものと考えられる

岩石名

結晶片岩 (緑色片岩 または 点紋片岩
: 広域変成岩)